

2024（令和6）年度

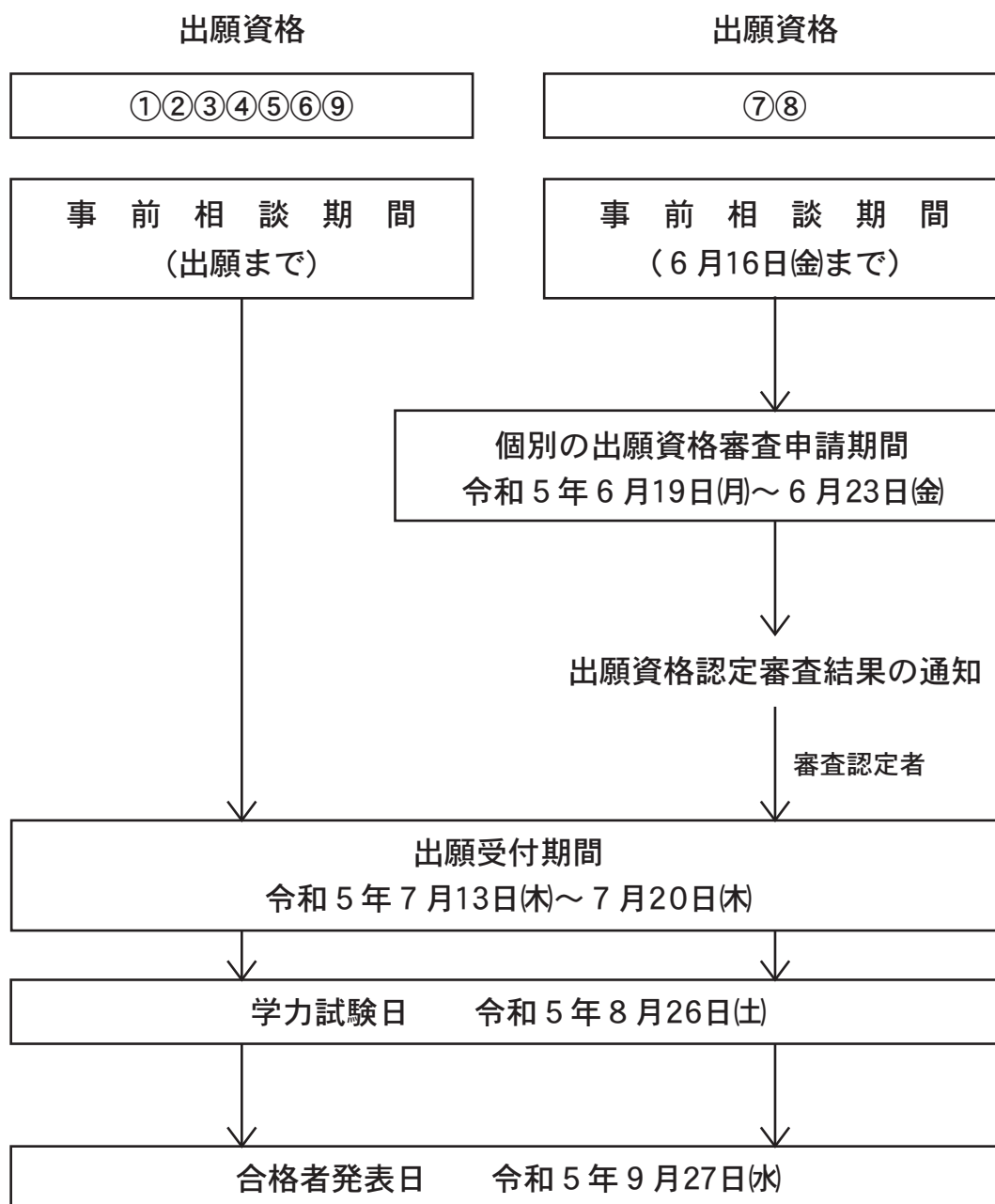
徳島大学大学院保健科学研究科
保健学専攻（博士前期課程）

学 生 募 集 要 項

（一般入試・社会人入試・私費外国人留学生入試）

徳 島 大 学

令和6年度 徳島大学大学院保健科学研究科博士前期課程入試実施日程



目 次

1 受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2 募集人員等	3
3 入試区分	3
4 出願資格	4
5 個別の出願資格審査	5
6 出願手続等	7
7 事前相談	8
8 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置	9
9 入試方法	9
10 学力試験の日時及び試験会場等	10
11 合格発表	10
12 入学手続等	10
13 長期履修学生制度について	11
14 障がいのある入学志願者との事前相談について	11
領域・分野の概要	12

1 受入方針（アドミッション・ポリシー）

【全学】

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

○博士前期課程及び修士課程

- ・専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
- ・多様な情報を的確に把握し、自らの自由な発想でその真偽と活用を判断し、高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動しようとする人
- ・世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる産業創出又は医療の深化・発展のために貢献しようとする人

【保健科学研究科】

保健科学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、豊かな人間性とともに関地臨床に役立つ新しい知識・技術を有し、人々の健康の維持・増進に資する高度な実践力・研究力を獲得することができる、次のような人を求めています。

【保健科学研究科博士前期課程】

保健科学研究科博士前期課程では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、関地臨床に役立つ新しい知識をもち、健康の維持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

- ・生命の尊厳を尊重し、健康の維持・増進を援助する使命感と医療人としての豊かな人間性を有する人
- ・学士課程の教育によって修得した保健学の知識を、博士前期課程においてさらに深め、高度専門職業人として、地域社会の保健医療に貢献する意欲の高い人
- ・生命倫理や高い人権意識を獲得し、高度医療の現場において指導的役割を果たす意欲の高い人

【保健学専攻】

保健学専攻では、関地臨床に役立つ新しい知識をもち、健康の維持・増進に資することができる、次のような人を求めています。

●求める人物像

（知識・技能、関心・意欲）

- ・高度専門職業人として、地域社会の保健医療に貢献する意欲の高い人

（思考力・判断力・表現力等の能力）

- ・医療人としての豊かな人間性を有し、これまでに修得した知識や技能に基づき、適切に判断し表現することができる人

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

・自ら学ぶ姿勢を持ち学際的に協働できる人

●入学者選抜の基本方針

一般入試

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力・主体性、協働性を総合して評価します。

社会人入試

個別学力試験では、専門分野に関する英語力を含めた知識・技能を評価します。

面接は、知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

私費外国人入試

口頭試問では、語学力（日本語、英語）および専門分野に関する知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

2 募集人員等

表 1

専攻	領域	分野	学位	募集人員
保健学	看護学	基盤形成支援看護学 健康生活支援看護学	修士 (看護学)	27名
		ウイメンズヘルス・助産学	修士(看護学)または 修士(保健学)	
		保健医療学	修士 (保健学)	
	医用情報科学	医用情報理工学 放射線科学	修士 (保健学)	
	医用検査学	先端医療技術・支援学		

- ・ウイメンズヘルス・助産学（助産実践コース）8名を含みます。
- ・医用情報科学領域には医学物理学コースが含まれます。
- ・募集人員には、社会人・私費外国人留学生を含みます。

3 入試区分

- ・全分野・領域にわたって「一般入試」、「社会人入試」及び「私費外国人留学生入試」を行います。
- ・出願できるのはいずれか一方です。
- ・出願後の入試区分変更はできません。

4 出願資格

出願できる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

(1) 一般入試・私費外国人留学生入試

- ① 大学を卒業した者及び令和6年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和6年3月31日までに授与される見込みの者^(注1)
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑥ 昭和28年2月7日文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和6年4月1日までに22歳に達する者^(注2)
- ⑧ 令和6年3月31日までに学校教育法第83条第1項に定める大学に3年以上在学する予定の者（外国の学校教育における15年の課程を修了した者を含む。）であって、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得する見込みがあると認められた者^(注3)
- ⑨ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(注1) 上記項目②は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者を示します。

(注2) 上記項目⑦は、上記項目①～⑥に該当しない者のうち、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校等の卒業生（修了者）等を示し、出願に先立ち表2の審査基準による個別の出願資格審査を行います。

(注3) 上記項目⑧の規定により出願しようとする者は、出願に先立ち、個別の出願資格審査が必要ですので、「5 個別の出願資格審査」の項を参照してください。

(2) 社会人入試

社会人入試に出願できる者は、上記「一般入試の出願資格」のいずれかに該当する者で、専門領域ごとに下記の要件を必要とします。

- ① **看護学領域**：看護師、助産師又は保健師の免許証を有し、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において3年以上の実務経験（通算可）を有すること。
- ② **医用情報科学領域**：医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において3年以上の実務経験（通算可）を有すること。
- ③ **医用検査学領域**：臨床検査技師の免許証を有すること。実務経験年数は問わない。

5 個別の出願資格審査

出願資格⑦、⑧により出願を希望する者は、あらかじめ個別に出願資格認定審査を受けてください。

(1) 申請期間等

① 申請期間

令和5年6月19日(月)～6月23日(金)まで(必着)

② 申請手続の方法

- ・申請者は、申請手続に必要な書類を郵送(必ず書留又は書留速達で発送してください。締切当日必着)又は持参(土・日・祝日除く)により提出してください。(提出先11ページ参照)

③ 出願資格認定審査結果の通知

- ・出願資格認定審査結果は、令和5年7月12日(水)までに、本人宛に郵送で通知します。
- ・認定された者は、所定の期間内に出願手続をしてください。

(2) 審査の方法

- ・出願資格認定審査は、出願に先立ち、提出書類に基づいて行われます。
- ・出願資格⑦による出願者の審査は次の表2に示す審査基準に従って行われます。

表2 出願資格⑦による出願者に対する審査基準

最終学歴	実務経験等の期間(注1)		
	看護学	医用情報科学	医用検査学
(ア) 修業年限2年の短期大学の卒業生	3年以上	3年以上	2年以上
(イ) 修業年限3年の短期大学の卒業生			1年以上
(ウ) 高等専門学校の卒業生			2年以上
(エ) 修業年限が2年以上の専修学校の専門課程の卒業生	3年以上(注2)	3年以上	大学卒業までの最短修業年数(16年)から専門課程を置く専修学校までの修業年限を控除した期間以上
(オ) 外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校(専門課程を除く)、各種学校その他国内外の教育施設の卒業または修了者			大学卒業までの最短修業年数(16年)から、最終学校卒業又は修了までの最短修業年数(入学資格を同一とする学校を複数卒業又は修了している場合は、修業年限の最長のもののみ採用。)を控除した期間以上
(カ) 上記(ア)から(オ)までに掲げる学校の退学者			大学卒業までの最短修業年数(16年)から、当該退学した学校の退学時までの修業年数を控除した期間以上。ただし、退学時までの標準履修単位(時間)数を修得していない場合は、修得単位(時間)数の相当年数を以って修業した年数とする。

(注1) 「実務経験等の期間」とは、つぎの期間を合算したものとします。ただし、看護学領域については、下記項目(3)～(5)のみが該当します。

- (1) 大学又は短期大学において、研究生として在学した期間
- (2) 短期大学及び高等専門学校に置かれた専攻科等に在学した期間
- (3) 大学・短期大学、官公庁、研究所、会社等の教育又は研究開発部門に教育職又は研究職として研究に従事した期間
- (4) 病院等における臨床実務に従事した期間
- (5) 前各号に定める以外の期間については、当該期間毎に審査し、総合的に判断します。

(注2) 高等学校専攻科(5年一貫含む)を卒業した者については、看護師免許を取得した後、看護師として5年以上の実務経験を有する者で、次の(1)から(3)のうちいずれかに該当する者とします。

- (1) 保健師助産師看護師学校養成所指定規則第2条もしくは第3条の養成所を修了し、保健師もしくは助産師の資格を有する者
- (2) 認定看護師もしくは認定看護管理者の資格を取得した者
- (3) 看護教員養成課程(厚生労働省、看護協会、都道府県など公共又はそれと同等となる機関の6か月以上の研修学校)を修了した者

- ・看護学領域では、上記実務経験等の期間に加え、業績内容（学術・専門誌での論文掲載、学会発表など）を含めて総合的に勘案して行われます。
学術論文を記載した書面には著者名（共著者を含めた全員）、題名、掲載誌名称、掲載ページ、発表年月を記載してください。〔A4判、所定の様式を使用して作成。書面が不足する場合は、同様の様式を作成の上、使用してください。〕
学会発表を記載した書面には演者名（共同演者を含めた全員）、題名、学会名、学会年月を記載してください。〔A4判、所定の様式を使用して作成。〕
- ・医用情報科学領域及び医用検査学領域では、最終学校の教育水準、成績、実務経験の内容等を総合的に勘案して行われます。
- ・出願資格⑧による出願者の審査基準については、担当係（11ページ参照）までお問い合わせください。

(3) 提出書類

出願資格⑦により出願しようとする者は、表3の書類を提出してください。

表3

提出書類	看護学	医用情報科学	医用検査学	
① 出願資格認定申請書	○	○	○	本要項に添付の所定用紙
② 最終学校成績証明書		○	○	出身学校長が作成し、厳封したもの
③ 最終学校卒業証明書	○	○	○	出身学校長が作成したもの
④ 履 歴 書	○			入学願書の裏面（履歴事項）をコピーし、作成してください。
⑤ 研究業績目録	○			本要項に添付の所定の様式を使用して作成してください。書面が不足する場合は同様の様式を作成の上、使用してください。また、それぞれの業績の証拠となる資料（写し）についても、あわせて提出してください。
⑥ 出身学校の規程等		○	○	卒業要件の記載されたもの等
⑦ 在職期間等の証明書		○	○	在職期間及び職種について、勤務先の所属長が作成した証明書（様式任意）
⑧ 審査結果通知用返信封筒	○	○	○	長形3号の封筒に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、344円の切手を貼ったもの

(注1) ○印は各領域で必要とする提出書類を示します。

(注2) 各証明書の姓が旧姓となっている場合は、現在の姓との関係を証明できる公的文書（戸籍抄本等）を添付してください。

出願資格⑧により出願しようとする者は、表4の書類を提出してください。

表4

① 出願資格認定申請書	本要項に添付の所定用紙
② 成績証明書	在籍する大学（学部）長が作成し、厳封したもの
③ 在学（期間）証明書	在籍する大学（学部）長が作成したもの
④ 推 薦 書	在籍する大学（学部）長が作成したもの（様式は任意）
⑤ 審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、344円の切手を貼ったもの

6 出願手続等

(1) 出願書類

入学志願者は下記の表5に示す「出願書類」を一括取り揃え、所定の期日までに蔵本事務部医学部学務課第二教務係に提出してください。

表5 出願書類一覧

出 願 書 類	看護学領域	領医 用情 報科 学	領医 用 検 査 学	摘 要
①入 学 願 書	◎	◎	◎	本要項に添付の所定用紙。裏面（履歴事項）も必ず記入してください。
②受 験 票 ・ 写 真 票	◎	◎	◎	本要項に添付の所定用紙。所定の箇所に写真（最近撮影した、縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向きのもので受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。）をそれぞれ貼ってください。
③成 績 証 明 書		◎	◎	最終出身学校長が作成し、厳封したものとします。
④卒業（見込）証明書	◎	◎	◎	最終出身学校長が作成したものを提出してください。 中途退学者は、退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。
⑤学 位 授 与 証 明 書	○	○	○	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑥教育職員免許法による養護教諭の専修又は1種免許状（写）	○	○	○	出願資格⑥において、左の免許状所有をもって出願資格ありと認められる者
⑦志 望 理 由 書	◎	◎	◎	本要項に添付の所定用紙に必要事項を記入してください。
⑧免 許 証（写）	○	○	○	出願資格⑦及び社会人入試、助産実践コースを希望する者で、看護師、助産師、保健師、診療放射線技師又は臨床検査技師の免許証を所持する者（写）
⑨受 験 承 諾 書		○	○	出願時に在職中の者で在職のまま入学を予定している者は、勤務先所属長の作成した受験承諾書（本要項に添付の所定用紙）を提出してください。 合格後、退職する予定の場合は、本人がその旨を明記した文書をもって受験承諾書に代えます。その場合は、入学手続時に退職証明書（又は退職見込証明書）が必要です。
⑩在職期間等証明書		○	○	在職期間及び職種について、勤務先の所属長が作成した証明書（様式任意）を提出してください。
⑪外国人住民登録証明書又は旅券の写し	○	○	○	私費外国人留学生として志願する者は、外国人住民登録証明書（市区町村長が発行したもの。）又は旅券の写しを提出してください。
⑫指 導 教 員 推 薦 書	○	○	○	私費外国人留学生として志願する者のみ。※指導教員に依頼（様式任意）
⑬検 定 料	◎	◎	◎	検定料 30,000 円 検定料を郵便振込の後、受領した「検定料払込証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学所定の様式）に貼って提出してください。
⑭受験票送付用封筒	◎	◎	◎	郵便番号、住所、氏名を明記し、速達料金の切手（344円）を貼ってください。（長形3号）
⑮あ て 名 票	◎	◎	◎	本要項に添付の所定用紙に郵便番号、住所、氏名を明記してください。

（注1）◎印は必須、○印は該当者のみ提出する書類です。

（注2）看護学領域の出願資格審査において、その資格を認定された者は、上記④の出願書類を再提出する必要はありません。

（注3）医用情報科学領域及び医用検査学領域の出願資格審査において、その資格を認定された者は、上記③、④及び⑩の出願書類を再提出する必要はありません。

（注4）外国人留学生は、国籍及び在留資格を確認できる書類で証明した氏名を、すべての出願書類について記入してください。

（注5）各証明書の姓が旧姓となっている場合は、現在の姓との関係を証明できる公的文書（戸籍抄本等）を添付してください。

(2) 出願期間

令和5年7月13日(木)～7月20日(木)(土・日・祝日除く)

受付時間は9時～17時までとします。

郵送・持参とも令和5年7月20日(木)17時までには必着とします。

なお、郵送の場合、7月19日(水)以前の発信局(日本国内)消印のある書留速達郵便に限り、期日後に到着した場合でも受理します。

(3) 出願書類の提出

所定の出願書類を用い、**郵送(書留速達)又は持参**により提出してください。(提出先11ページ参照)

(4) 出願上の注意事項

- ・ 出願書類に不備がある場合は原則として受理しません。
- ・ 出願書類の記入にあたっては、黒色ボールペンを使用し、正しく記入してください。インクが消える特性のボールペンは使わないでください。
- ・ 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学蔵本事務部医学部学務課第二教務係まで連絡してください。
- ・ 一度受理した出願書類及び入学検定料は理由の如何にかかわらず返還しません。
- ・ 受験票は、出願受理後に本人あてに送付します。試験日3日前までに受験票が届かない場合は、本学蔵本事務部医学部学務課第二教務係まで連絡してください。
- ・ 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ・ 安全保障輸出管理について

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/yusyutsu.html>

7 事前相談

- ・ 出願希望者は、出願前に、指導を受けようとする教員と連絡を取り、入学後の研究等について相談を必ず行ってください。
- ・ 各領域の概要及び事前相談の連絡先については12～15ページを参照してください。
- ・ なお、不明な点や質問がある場合は、**担当係(11ページ参照)**までお問い合わせください。
- ・ 私費外国人留学生出願

私費外国人は、応募に際しては、あらかじめ希望する専門の指導教員に照会のうえ出願してください。

- ・徳島大学留学生ポータル

徳島大学ホームページに、外国に住んでいて徳島大学へ留学を希望している方のために開設した「徳島大学留学生ポータル」サイトがあります。

その中で、大学院入学に必要な手続きについて記載されているところがありますので、以下 URL を参考にしてください。

日本語版：https://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/graduate_school/

英語版：https://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/english/graduate_school/

また、研究指導を受けたい各教員の情報（Research Outline）は、12～15 ページに記載しています。

8 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

- ・社会人入試による入学者のために、大学院設置基準第14条による昼夜開講制や、夜間その他の特定の時間等を開講する授業や集中講義などを導入しています。

9 入試方法

(1) 入試方法について

- ① 一般入試及び社会人入試は学力試験（専門科目・英語・小論文）、面接、及び提出書類（志望理由書を含む）により総合的に判定します。
- ② 面接は個人別に行います。〔看護学領域（助産実践コース）は、集団討論を行います。〕
- ③ 私費外国人留学生入試は、口頭試問（語学を含む）、及び提出書類（志望理由書を含む）により総合的に判定します。

(2) 学力試験（専門科目・英語・小論文）について

看護学領域

- ・「英語」は保健学専攻の共通問題及び看護学全般に関わる英文情報の理解を問う問題とします。
- ・「英語」の試験では、個人の辞書は持ち込めませんが、**英和辞書**をお貸しします。
- ・「専門科目」は看護学に関する問題とします。〔助産実践コースの「専門科目」は、母性看護学に関する問題とします。〕
- ・「面接」は専門知識についての口頭試問を含みます。

医用情報科学領域

- ・「英語」は保健学専攻の共通問題及び保健学全般に関わる英文情報の理解を問う問題とします。
- ・「英語」の試験では、個人の辞書は持ち込めませんが、**英和辞書**をお貸しします。
- ・「面接」は専門知識についての口頭試問を含みます。

医用検査学領域

- ・「英語」は保健学専攻の共通問題及び保健学全般に関わる英文情報の理解を問う問題とします。
- ・「英語」の試験では、個人の辞書は持ち込めませんが、**英和辞書**をお貸しします。
- ・「小論文」は保健・医療における医用検査学に関わる事柄について出題します。
- ・「面接」は専門知識についての口頭試問を含みます。

10 学力試験の日時及び試験会場等

表6 学力試験日時等（一般入試及び社会人入試）

試験日	試験科目等	時間	領域名			試験場
			看護学	医用情報科学	医用検査学	
令和5年 8月26日 (土)	専門科目	9:00～10:00	○			徳島大学 保健学C棟
	小論文	9:00～10:00			○	
	英語	10:30～12:00	○	○	○	
	面接	13:00～	○	○	○	

(注1) ○印は各領域で課す試験科目等を示します。

表7 学力試験日時等（私費外国人留学生入試）

試験日	試験科目等	時間	領域名			試験場
			看護学	医用情報科学	医用検査学	
令和5年 8月26日 (土)	口頭試問 (語学を含む)	13:00～	○	○	○	徳島大学 保健学C棟

(注2) ○印は各領域で課す試験科目等を示します。

11 合格発表

令和5年9月27日(水) 午前10時

- ・医学部掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。
- ・電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

12 入学手続等

入学手続の概要は次のとおりです。詳細については、合格者に別途通知します。

(1) 入学手続期間

郵送の場合 令和6年2月14日(水)から令和6年2月19日(月)17時必着とします。

持参の場合 令和6年2月19日(月)9時から17時までの時間帯とします。

(2) 入学手続の方法

- ・合格者は、入学手続に必要な書類を郵送（必ず書留又は書留速達で発送してください。締切当日必着）又は、持参により提出してください。（提出先11ページ参照）

令和6年2月19日(月)までに入学手続が完了されない場合は、入学辞退として取り扱います。

(3) 入学に要する経費

- ・入学金 282,000円〔予定額〕
- ・入学金以外の納付金

学生教育研究災害障害保険料、後援会費等の次の経費を納付することとなっています。

約50,000円（金額等は別途通知します。）

(注1) 納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。

(注2) 授業料 前期分 267,900円〔予定額〕、年額 535,800円〔予定額〕

入学金及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新入学金及び新授業料を適用します。

(注3) 授業料の納入については、希望により前期分の納入の際に後期分も合わせて納入することができます。

13 長期履修学生制度について

- ・この制度は、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。
- ・なお、修学状況の変動により、長期履修期間を変更することが可能です。
- ・ただし、入学後（在学中）に申請の場合は翌年度からの適用になります。
- ・長期履修期間は、未就学期間の2倍までとなります。

(1) 対象者

職業を有する者又は本研究科が特に必要と認めた者

(2) 長期履修期間

2年を限度とします。したがって修業年限は、3年又は4年となります。

(3) 申請方法

入学手続き時に徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係へ申請書を提出してください。

(4) 結果通知

申請者に対し、入学後に長期履修についての結果を通知いたします。

(5) 授業料

- ① 年額の授業料算出は、次のとおりです。
本学が定めた金額×標準修業年限（2年）÷許可された修業年限
- ② 授業料の決定は長期履修結果通知時（入学後）に行いますので、長期履修を希望する場合は、入学手続き時に授業料を納入しないでください。
- ③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。その際は、改めて通知いたします。

14 障がいのある入学志願者との事前相談について

受験上及び就学上の配慮を必要とする者は、あらかじめ大学への相談が必要ですので、令和5年6月16日（金）までに本学へ相談してください。

- ・なお、不明な点や質問がある場合は、下記までお問い合わせください。

《出願書類、出願資格審査書類、入学手続き書類の提出先及び各問い合わせ先》

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町3丁目18番地15

徳島大学蔵本事務部医学部学務課第二教務係

TEL 088-633-9009（直通）

領域・分野の概要

看護学領域

分野	専 門	学 位	担当教員	概 要
基盤形成支援看護学	看護教育学		岩佐 幸恵 Tel : 088-633-9005 E-mail:iwasa.yukie@tokushima-u.ac.jp	看護師の教育に関する、理論、課程、内容、方法を研究の対象とし、看護学生を含むすべての看護職者の発達支援とキャリア開発につながる研究を行う。
	アウトカム管理学		谷岡 哲也 Tel : 088-633-9021 E-mail:tanioka.tetsuya@tokushima-u.ac.jp 安原 由子 Tel : 088-633-7629 E-mail:yasuhara@tokushima-u.ac.jp	看護におけるケアリングとしての技術的能力を通して、患者ケアに対するより質の高いアウトカムや、高度で包括的な医療に関するアウトカムを作り出す技術、方法、システムについて研究を行う。
健康生括支援看護学	がん看護学	修士 (看護学)	今井 芳枝 Tel : 088-633-9038 E-mail:imai@tokushima-u.ac.jp	がんに罹患したことや手術や化学療法などによる侵襲を伴う治療を体験している人の苦痛緩和やセルフケアの向上に結びつく援助方法について研究を行う。本分野では、がん看護専門看護師の履修科目が設定された教育課程を開講している。
	リハビリテーション看護学		板東 孝枝 Tel : 088-633-7644 E-mail:b.takae.b@tokushima-u.ac.jp	早期社会復帰に向けた看護支援について、周術期看護領域、リハビリテーション看護領域、がん看護領域に関する研究を行う。 なお、がん看護学分野とともにがん看護専門看護師の教育課程も開講している。
	地域看護学		岡久 玲子 Tel : 088-633-9977 E-mail:reiko.okahisa@tokushima-u.ac.jp 松下 恭子 Tel : 088-633-9037 E-mail:y matsushita@tokushima-u.ac.jp	地域社会におけるあらゆる健康レベルの個人・家族・集団および地域全体の健康の保持増進を支援することを目的とし、対象者への支援方法や地域における看護職の技術向上に関する研究を行う。
	小児看護学		橋本 浩子 Tel : 088-633-9329 E-mail:hhashimoto@tokushima-u.ac.jp	子どもを取り巻く社会が変化するなかで、さまざまな健康レベル、発達段階にある子どもと家族の健康な生活を支援するために必要な看護援助の方法や看護の実践力向上に関する研究を行う。
	学校保健学		奥田 紀久子 Tel : 088-633-9041 E-mail:okuda@tokushima-u.ac.jp	子どもの現代的な健康課題と支援のあり方を検討しその効果について明らかにする。また子どもの健康支援における養護教諭の役割や教育実践について研究を行う。
	精神看護学		千葉 進一 Tel : 088-633-7614 E-mail:chiba.shinichi@tokushima-u.ac.jp	こころの健康問題や精神疾患、精神障害を有する人と家族への看護援助の方法や、その看護援助の効果、精神障害者の QOL の向上に関する研究を行う。

分野	専 門	学 位	担 当 教 員	概 要
保 健 医 療 学	こころの 保 健 学	修士 (保健学)	友竹 正人 Tel : 088-633-9083 E-mail:tomotake@ tokushima-u.ac.jp 森 健治 Tel : 088-633-9082 E-mail:moriken@ tokushima-u.ac.jp	こころの不健康状態（不適応、不安、抑うつ、不眠など）や精神疾患（うつ病、不安障害、摂食障害、統合失調症、発達障害など）のリスク因子の解明と症状評価法、支援法、予防法に関する研究を行う。
	臨床腫瘍 保 健 学		近藤 和也 Tel : 088-633-9031 E-mail:kzykondo@ tokushima-u.ac.jp	近年、患者の自己申告による Quality Of Life (QOL) 評価法として Patient-Reported Outcome (PRO) が注目されている。第Ⅲ相大規模臨床試験においても PRO 評価が secondary endpoint の1つに設定されている。様々な癌（肺癌、乳癌、食道癌など）の治療法（手術、放射線、化学療法など）の選択に PR-QOL 評価を導入することにより患者中心の医療を発展させていく。
ウ イ メ ン ズ ヘ ル ス ・ 助 産 学	女 性 支 援 看 護 学	修士 (看護学)	葉久 真理 Tel : 088-633-9080 E-mail:haku@ tokushima-u.ac.jp	ライフサイクルやマタニティサイクルにある女性や家族・母子保健上の問題課題解決に向けた研究を行う。
	助 産 学 (助産実践コース)		葉久 真理 Tel : 088-633-9080 E-mail:haku@ tokushima-u.ac.jp	安全で快適な妊産婦・家族サービスとしての助産実践の保証に応えるために、根拠に基づいた実践の探求から知識と技術を統合し、助産学を発展させるための実践力・研究力を育成することで、より高いプロフェッション意識と役割遂行力をもつ助産師を育成する。
	生殖・更年期 保 健 学	修士 (保健学)	安井 敏之 Tel : 088-633-9023 E-mail:tosyasui@ tokushima-u.ac.jp	高齢不妊女性や高齢出産女性の増加にともない増えてくる疾患（糖尿病や高血圧など）や精神的な問題に対して、性成熟期から予防、治療、支援を行うことにより、更年期や老年期における QOL を高めることができるかどうかについて研究を行う。

医用情報科学領域

分野	専 門	学 位	担 当 教 員	概 要
医 用 情 報 工 学	先端医用画像 機 器 工 学	修士 (保健学)	吉永 哲哉 Tel : 088-633-9050 E-mail:yosinaga@ tokushima-u.ac.jp	X線CT、エミッションCT、MRI等の医用画像機器の画像再構成手法の原理、演算アルゴリズム、実装技術を系統的に学習し、高速・高品質な画像再構成を実現するための研究を行う。
	核医学治療・ 核 化 学		阪間 稔 Tel : 088-633-9862 E-mail:minorusakama@ tokushima-u.ac.jp	核・放射化学的手法や高度な質量分離測定技術を学習し、新元素・新核種の合成や化学特性の解明、核医学における放射性核種合成の開発、さらに生体中及び環境中の元素や放射能濃度、同位体比に関する研究を行う。医学物理分野に関連する粒子・放射線輸送モンテカルロシミュレーション計算コードPHITSの応用研究を実践する。
	放射線障害 分 子 医 学		森田 明典 Tel : 088-633-9052 E-mail :morita@ tokushima-u.ac.jp	放射線を始めとするゲノム障害ストレスに対する細胞の応答機構の解明、および放射線防護や放射線治療成績の向上に資する生物学的制御法について、先端的な生命科学の手法を用いて研究を行う。
	医 用 画 像 物 理 学		芳賀 昭弘 Tel : 088-633-9024 E-mail:haga@ tokushima-u.ac.jp	最先端の医用画像情報科学を学ぶとともに、重粒子線治療領域の核破砕モデルの開発、基礎物理学と機械学習を融合した新しい医用画像再構成法の開発と、医用画像特徴量の表現及びその解析法に関する研究を行う。
	脳機能画像 解 析 学		河野 理 Tel : 088-633-9025 E-mail:kouno.satoru@ tokushima-u.ac.jp	fMRIの撮像技術、実験デザイン、統計的解析手法の開発およびfMRIを用いたヒトを対象とする基礎研究、臨床研究を行う。
放 射 線 科 学	医 用 画 像 解 析 学	高尾 正一郎 Tel : 088-633-9865 E-mail:takao@ tokushima-u.ac.jp	MRIやCTなどの医用画像を用いた骨関節、骨格筋および心臓領域の半定量的解析を行い、生理的変化や病態の解明を行う。	
	代 謝 ・ 機 能 画 像 情 報 解 析 学	大塚 秀樹 Tel : 088-633-9022 E-mail:hideki.otsuka@ tokushima-u.ac.jp	次の2つのテーマに取り組んでいる。 ① 核医学的手法を用いてシングルフォトンおよびポジトロントレーサーについて、基礎および臨床研究を行い、機能・代謝の観点から病態の解明を行う。 ② 代謝・機能画像と病態との関連を人工知能を用いて数理的側面から解明する。	
	放射線治療学	生島 仁史 Tel : 088-633-9051 E-mail:ikushima@ tokushima-u.ac.jp	放射線腫瘍学を学び、がん放射線治療技術を習得する。機能画像と放射線治療を用いた低侵襲がん治療法の確立を目的とした研究を行う。	

医用検査学領域

分野	専 門	学 位	担 当 教 員	概 要
先端 医 療 技 術 支 援 学	生 体 機 能 解 析 学	修士 (保健学)	遠藤 逸朗 Tel : 088 - 633 - 9064 E-mail:endoits@ tokushima-u.ac.jp	代謝性骨疾患やメタボリック症候群の原因となる内分泌代謝異常症の病態解析や新規治療ターゲットの開発を基礎的あるいは臨床的検討により行う。
	分 析 医 化 学		富永 辰也 Tel : 088 - 633 - 9063 E-mail:tominaga.tatsuya@ tokushima-u.ac.jp	糖尿病性腎症の発症メカニズムの解析、早期診断方法の開発、新規治療ターゲットの探索を行う。
	微 生 物 ・ 遺 伝 子 解 析 学		片岡 佳子 Tel : 088 - 633 - 9061 E-mail:kataokakeiko@ tokushima-u.ac.jp	ヒトの健康の保持にはどんな腸内細菌叢が重要なのかを明らかにすることを目標として、1) 疾患モデル動物を用いたプレバイオティクスや機能性食品による疾病の予防効果、2) 抗菌薬による疾患モデル動物の腸内環境への介入と疾患リスクへの影響、3) 食事内容や環境要因がヒトの腸内菌叢の形成過程に及ぼす影響 についての研究を行う。
	病 理 解 析 学		山下 理子 Tel : 088 - 633 - 9065 E-mail:yamashitar@ tokushima-u.ac.jp	①骨髄と骨髄外の脂肪細胞の形態と栄養代謝マーカーの相関について研究している。チーム医療に役立つ検査値解釈法「徳島赤十字方式」を啓発している。②腎臓病理、リンパ節骨髄病理診断に役立つ実用的な病理検査・遺伝子検査の方法について検証している。③今後、徳島県産食材の健康効果検証などを検討している。
	細 胞 ・ 免 疫 解 析 学		安藝 健作 Tel : 088 - 633 - 9068 E-mail:aki@ tokushima-u.ac.jp	輸血・移植免疫反応において重要な血液型糖鎖抗原とその糖鎖抗原を決定する糖転移酵素遺伝子の解析、免疫細胞の細胞内 Ca ²⁺ シグナル伝達機構とその機能発現およびNK細胞機能の解析に関する研究を行う。
	生 殖 補 助 医 療 学		安井 敏之 Tel : 088 - 633 - 9023 E-mail:tosyasui@ tokushima-u.ac.jp	生殖補助医療の臨床成績を向上するために、卵の活性化法に影響する因子を解明するための基礎研究を行う。また、高齢不妊女性の増加にともない、卵巣予備能が注目されていることから、卵巣予備能と関連する内分泌学的因子について研究を行う。
	腫 瘍 制 御 学		近藤 和也 Tel : 088 - 633 - 9031 E-mail:kzykondo@ tokushima-u.ac.jp	胸部の腫瘍（肺癌及び胸腺上皮性腫瘍）の生物学的特性を明らかにし、臨床の診断及び治療にフィードバックすることを目標としています。1) 吸入発癌物質であるクロム酸に暴露した労働者の肺癌のがん関連遺伝子の解析やDNA修復遺伝子hMLHの関与についての研究 (University of Kentucky, University of Louisville と共同研究) 2) 臨床の肺癌症例に酷似した肺癌 SCID マウスモデル（細胞株を同所性に移植）を作成し、放射線・化学療法の効果を研究 (LUNAM University と共同研究) 3) 胸腺上皮性腫瘍の悪性度を評価するがん関連遺伝子の同定やDNAメチル化の検索。(理化学研究所と共同研究)

徳島大学大学院保健科学研究科（博士前期課程）入学願書（令和6年度）

		受験番号 ※	
入試区分	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 私費外国人留学生入試 (○で囲んでください。)		
ふりがな			性別
氏名			男 ・ 女
生年月日	年 月 日生 (歳)		
志望領域	看護学領域 ・ 医用情報科学領域 ・ 医用検査学領域 (志望する領域を○で囲んでください。)		
志望分野 ・ 専門	(各分野における専門名を記入してください。 [12～15ページ参照])	指導 予定 教員	事前 相談 実施 月日
	分野 専門		
受験資格	大学	年 月 卒業・卒業見込 大学 学部 学科	
	大学改革支援・ 学位授与機構	学士の学位取得 (年 月) 取得 学士 ()	
	その他		
現住所 (受信住所)	〒 - 電話番号 () - 携帯電話番号 -		
連絡先 (保護者等)	氏名	本人との 続柄	
	現住所	〒 - 電話番号 () -	

※印の欄は記入しないでください。

(切り離して提出してください)

令和6年度
徳島大学大学院保健科学研究科(博士前期課程)

写真票 1

受験番号	※
入試区分	一般入試・社会人入試・ 私費外国人留学生入試 (○で囲んでください)
志望領域	
ふりがな	
氏名	

(切り離さないでください)

写真貼付欄

最近撮影した、縦4cm ×
横3cm、上半身、無帽、正
面向きのもの

写真の裏には氏名を明記
のこと

(切り離さないでください)

受験番号票

受験番号	※
------	---

(注) ※印欄は記入しないでください。

(切り離さないでください)

令和6年度
徳島大学大学院保健科学研究科(博士前期課程)

写真票 2

受験番号	※
入試区分	一般入試・社会人入試・ 私費外国人留学生入試 (○で囲んでください)
志望領域	
ふりがな	
氏名	

(切り離さないでください)

写真貼付欄

最近撮影した、縦4cm ×
横3cm、上半身、無帽、正
面向きのもの

写真の裏には氏名を明記
のこと

(切り離さないでください)

令和6年度
徳島大学大学院保健科学研究科(博士前期課程)

受験票

受験番号	※
入試区分	一般入試・社会人入試・ 私費外国人留学生入試 (○で囲んでください)
志望領域	
ふりがな	
氏名	

【注意事項】

- ※印欄は記入しないでください。
- 受験の際は、必ず本票を持参してください。

写真貼付欄

最近撮影した、縦4cm ×
横3cm、上半身、無帽、正
面向きのもの

写真の裏には氏名を明記
のこと

(切り離さないでください)

履 歴 事 項

氏 名

区 分	年 月	事 項
学 歴 ※(1)	年 月	立 高等学校（中等教育学校）卒業
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴 ※(2)	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
学会及び社会における活動経験等		

【記入上の注意】

- ※(1) 学歴欄は、高等学校・中等教育卒業後の学歴を自主学習や予備校学習も含め、空白期間のないように記入してください。学部・学科等も記入してください。卒業見込の場合は、卒業見込まで記入してください。
- ※(2) 職歴欄は、勤務部署、職名等まで詳細に記入してください。
また、家事手伝いや無職の期間も記入し、学歴欄同様に空白期間のないように現在に至るまで記入してください。ない場合は、「なし」と記入してください。
- (3) 学歴及び職歴の記入欄が不足する場合は、それぞれに適宜用紙を付け足し記入してください。
- (4) 学会及び社会における活動経験等欄は、経験がある場合、その概要について記入し、経験がない場合は、「なし」と記入してください。

受 験 者 心 得

学力試験日 令和5年8月26日(土)

学力試験場 徳島大学保健学C棟

(一般入試及び社会人入試)

試験科目等	時 間	領 域 名		
		看 護 学	医用情報科学	医用検査学
専門科目	9:00-10:00	○		
小論文	9:00-10:00			○
英語	10:30-12:00	○	○	○
面接	13:00-	○	○	○

(私費外国人留学生入試)

試験科目等	時 間	領 域 名		
		看 護 学	医用情報科学	医用検査学
口頭試問 (語学含む)	13:00-	○	○	○

学力試験場の開扉…8時30分です。
受験者は、試験開始20分前までに集合してください。

- (注意事項)
- 筆記用具（黒鉛筆、消しゴムなど）を用意してください。下敷・万年筆・ボールペン・色鉛筆等は禁止します。
試験室に時計はありませんので、各自で用意してください。
 - 問題解答に際しては、受験番号を正確に記入してください。
 - 試験開始後30分以上遅刻した者は受験を認めません。
 - 昼食は持参してください。
 - 当日は駐車場がないので、自動車、バイクは入構できません。
 - 盗難防止のため、貴重品は各自で持ってください。
 - 上履きは不要です。

令和6年度 徳島大学大学院保健科学研究科保健学専攻（博士前期課程）

志 望 理 由 書

		※受験番号	
入試区分	一般入試・社会人入試・私費外国人留学生入試（○で囲んでください）		
ふりがな			
氏名			
	志 望 領 域	志 望 分 野 ・ 専 門	
	領域		分野 専門
<p>専攻への志望動機：志望分野において取り組みたい課題／テーマについて簡単に記述してください。</p>			

（切り離して提出してください）

【記入上の注意】

- ※印の欄は記入しないでください。
- パソコン使用の場合は、本様式（A4）にならい、作成してください。

受 験 承 諾 書

所 属

職 名

氏 名

上記の者について、徳島大学大学院保健科学研究科保健学専攻（博士前期課程）の出願を承諾します。

なお、合格の際は、引き続き在職したまま入学することを承諾します。

（切り離して提出してください）

令和 年 月 日

勤 務 先

所 属 長

職・氏名

印

令和6年度 徳島大学大学院保健科学研究科保健学専攻（博士前期課程）
出願資格認定申請書

徳島大学長 殿

氏 名 ㊟

生年月日

住 所 〒

電 話 番 号

携帯電話番号

別添の書類を添付のうえ、下記のとおり認定を申請します。

記

認定を希望する入試区分	一般入試 ・ 社会人入試 ・ 私費外国人留学生入試
認定を希望する出願資格	出願資格⑦ ・ 出願資格⑧
志 望 分 野 ・ 専 門	
事 前 相 談 実 施 月 日	

※該当箇所を○で囲んでください。

様式

研究業績目録						
			令和	年	月	日
			氏名		印	
著書・学术论文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要 (著者名、論文の概要)		
【著書】						
【論文】						
【学会発表】						
【その他】						

(切り離して提出してください)

※それぞれの業績の証拠となる資料（写し）についても、あわせて提出してください。

検定料の払い込みについて

- 1 検定料を払い込む場合は、必ずこの払込用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局の窓口から払い込んでください。
(ATMは、使用しないでください。)
- 2 検定料を払い込む際には、払込用紙のすべての志願者欄に氏名等を記入の上、切り取り線から払込用紙を切り取り、ゆうちょ銀行及び郵便局の窓口へ検定料に手数料を添えて提出してください。(払込用紙は3連式ですので、切り離さないでください。)
- 3 検定料を払い込んだ際には、日附印が押印された「検定料払込証明書(出願用)」を必ず受領してください。
- 4 「検定料払込証明書(出願用)」は、「検定料払込証明書」の指定の欄に貼付して願書に添付して提出してください。
- 5 この払込用紙の「振替払込請求書兼受領証」をもって国立大学法人徳島大学の領収証書に代えさせていただきますので、別に領収証書を送付することはありません。

切り取り線

払込取扱票

00	口座記号番号	016300	金額	30000	千	百	万	千	百	十	円
	加入者名	国立大学法人 徳島大学									
	通信欄	令和6年度大学院保健科学研究科保健学専攻(博士前期課程) 検定料									
	志願者	おところ(郵便番号)) おなまえ (電話番号))									
	日附印	様 日 附 印									

各票の※印欄は、志願者において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)承認番号徳第4381号
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	016300	金額	30000	千	百	万	千	百	十	円
	加入者名	国立大学法人 徳島大学								
	志願者	おなまえ ※								
	料 金	(消費税込み) 円								
	備考	様 日 附 印								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

切り取らないで郵便局にお出しください。

検定料払込証明書(出願用)

口座記号番号	016300	金額	30000	千	百	万	千	百	十	円
	加入者名	国立大学法人 徳島大学								
	志願者	※								
	住所氏名									
	日 附 印	日 附 印								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはつきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙
5万円以上
貼付
印

この場所には、何も記載しないでください。

大学院保健科学研究科
保健学専攻志願者用

受験番号

(大学記入欄)

検定料払込証明書

「検定料払込証明書（出願用）」貼付場所



(切り離して提出してください)

あ て 名 票

合格通知等を受け取る住所、氏名、郵便番号を3箇所記入すること。
団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番を入れ、間借りをしている者は、「〇〇様方」と詳しく記入すること。
なお、出願後、又は合格発表後、住所変更した場合は、速やかに届け出ること。

合格通知等用→

住所

氏名

殿

受験番号 (大学記入欄)

合格通知等用→
(予備：上記と同じ
あて名を記入すること)

住所

氏名

殿

受験番号 (大学記入欄)

入学手続案内用→
※必ず受け取ること
ができる住所
を記入すること

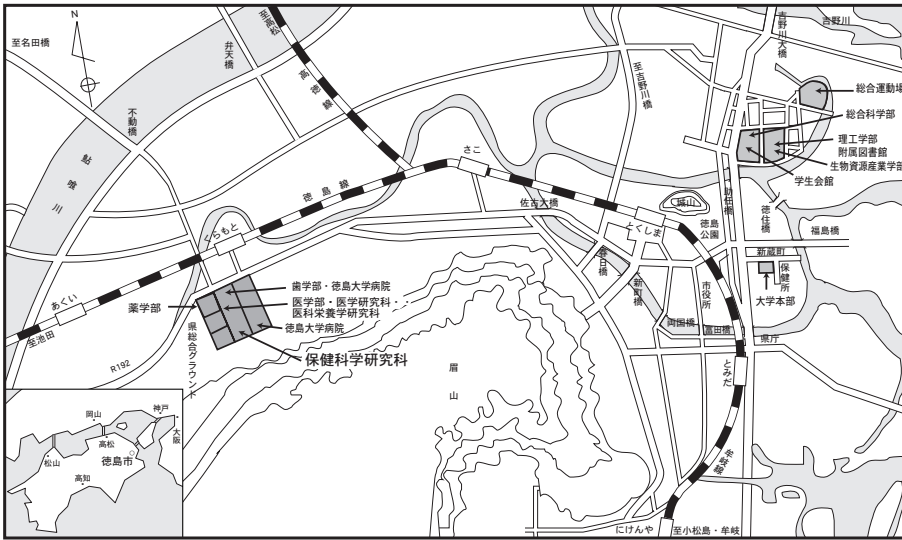
住所

氏名

殿

受験番号 (大学記入欄)

【徳島大学大学院保健科学研究科位置図】



交通アクセス

◎航空機

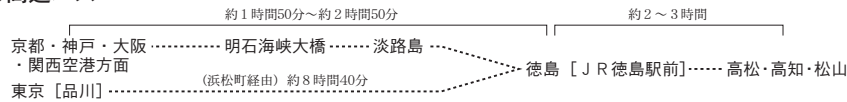


交通アクセス
 — 航空機
 = 鉄道
 ~ 船舶
 - - - バス

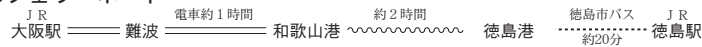
◎鉄道



◎高速バス



◎フェリーポート



徳島市営バス乗場案内 (JR徳島駅から試験場へ)

のりば	行先	備考
1	中央循環線 (右回り) 上点噴	「県立中央病院・徳島大学病院前」下車 徒歩 3分 又は「総合メディカルゾーン」下車 徒歩 2分
	名東、地藏院、天の原西 (延命)	「医学部前」下車 徒歩 2分

徳島駅から医学部まで……約4km

【徳島大学蔵本地区建物配置図】

